

VR技術等先端技術を活用し、住宅業界の営業支援ツールを開発

同社はCGパース・コンテンツ制作の技術力を活かし、住宅業界向けにプレゼン用3DCADソフトのカスタマイズ・販売等を行っている。建築CGパース制作等のプレゼン資料作成から、VR技術等を活用した集客コンテンツ制作、顧客分析、アフターフォローに至るまで、一気通貫で対応。住宅業界の営業担当者等が建築主にとってわかりにくい住宅の設計をわかりやすく伝えるための支援サービスを開発。住宅管理用ソフトウェア「EOPAN Cloud」は、ビジネスモデル特許を取得している。

所在地 大阪府大阪市中央区久太郎町3-1-29
本町武田ビル9F
電話／FAX 06-6120-4007／06-6120-4177
URL <https://eog.co.jp/>
代表者 代表取締役 山中 健司

設立 2001年
資本金 1,000万円
従業員数 35人



VR技術等先端技術を活用した製品開発で付加価値向上

住宅管理用ソフトウェア「EOPAN Cloud」を開発。同製品には、VR技術等先端技術を活用し追客機能など他社にはない価値を付与。ウイズコロナの新しい働き方が求められるなか、住宅業界の営業担当者のリモート営業を可能にしている。さらに、追客機能活用により、ファクトを元にした利益率の高い営業を可能にしている。また、同社はIT導入補助金のIT導入支援事業者として数多くの支援実績があり、コロナ禍のなか、顧客である建築業界の生産性向上に貢献しながら自社の利益拡大につなげている。



EOPAN Cloud

コールセンター用の独自システムを構築し人材育成コストを削減

同社はコールセンターを設けて、顧客である住宅業界の担当者等に対し、CADの操作や運用にかかるサポートを行っている。コールセンター業務においては、専門的な知識が求められ、マニュアル整備や教育用の人材の配置など、人材育成にコストがかかることが課題であった。そこで、コールセンター用の独自システムを構築し、軽微な内容であれば社歴が浅くスキルが十分でないスタッフでも安心して回答ができる仕組みを構築することで当該コストを削減している。



コールセンター

積極的な他企業と協働した技術開発

顧客が建築主とよりよいコミュニケーションを取れるよう、他企業と協働した積極的な技術開発を行うとともに、特許等を取得することでサービスの優位性の確保に努めている。特許を取得している独自の販促・追客機能を備えた「EOPAN Cloud」は株式会社インフォマティクスとの共同開発である。また、建築主が自宅等で提案をVRで確認することを可能にするスマホを差し込む形式のVRゴーグル「EOPAN MULTIBOX」は、凸版印刷株式会社との共同開発であり、商標、意匠権を取得している。



EOPAN MULTIBOX